

# 曼茶羅に寄せて②

ネパール 紀行  
一九九一・六・二二  
青木一義

造り酒屋の見学が終わった後で、この家の仏堂に案内された。

酒屋の二階続きに造られたその部屋が、何と驚いたことに河口慧海が約百年前滞在していた時に住んでいた部屋だったのだ。今もその時のまま保存されているというのである。私は一步その部屋に足を踏み入れて、アッと立ちすくんでしまった。

仏堂の正面中央に仏壇があり、仏壇の傍らから右手の壁にかけて設けられた経蔵の棚に、幻の経文が金色燦然と積まれていたからである。夢ではないかとわが目を疑った。玄奘三蔵が、中国から天竺に向けて、苦難の仏教原典入手の旅を続けたように、日本

にもかつてインドからチベットに向け旅をした若き禅僧がいた。河口慧海である。

その慧海が書いた「チベット旅行記」の中で「大乘経の仏典なるものは、仏法の本家なるインドには跡を絶って、今はネパールあるいはチベットに存在しているという。その原書を得るためには是非ネパールあるいはチベットに行く。なくてはならぬ」と言っている。

一八九七年神戸を出発した慧海は当時鎖国化にあったチベットへ潜入するためラマ僧に変装し、インドのダージリンで一年余りチベット語を学んだ。

ネパールのカトマンズからポカラを経てカリガンダキを北上。このツクチ工村では、セルチャン家で学んだりしながらその周辺で一年余りを過ごす。一九〇〇年によろやく

チベットへの国境を越えた。途上ヒマラヤ山中での難行ぶりは甚だしく、風雪に悩まされ、何度も死を覚悟しながらの旅だった、という。

ツクチ工はその昔チベットとインドを結び交易の中心地として賑わった所で、その時代の繁栄をしのばせるような古い寺院やスッパ一族の大きい平屋根二階建ての豪華な住居などがみられる。

スッパというのは將軍家から与えられた称号で、知事のような役目の役人のことである。

スッパ一族のハルカマン・セルチャンは、チベット岩塩の独占権を与えられており、タコラ地方を当時支配していたタカリー族の指導者、セルチャン、スッパの一族は塩の輸入で経済的にも裕福だったのである。チベットとポカラを結びシヨ

ムソン街道は、塩の道とも呼ばれて、この街道の賑わいをあらわしていた。

それが、一九六二年の中国によるヒマラヤ国境の全面閉鎖後は、交易も途絶え、ツクチ工はさびれたまま今は訪れる人は少ない。

約百年前、一八九九年（明治三十二年）三月下旬、河口慧海を留めて世話をしたハルカマン・セルチャンはタコラ地方では当時のスッパ（郡長）でタカリー族の指導者だったのである。

ツクチ工はヒマラヤも北の山岳地帯で、宗教もチベット仏教（ラマ教）の影響が強く、暮らしの良い家では特に仏堂を設けて仏を祭ると共に、経蔵を設け、経典をしまい、また仏像の中にも経文を備えて、ブツダに供養すると同時に公德のために最も尊敬すべきラマの接待所にしてあるのだという。

このようにして大蔵経典がこの地方からチベットに今も存在していたのである。（次号に続く）

# 法語の世界

《原 文》

道宗 前々住上人 蓮如へ御文申され候ば 仰せられ候ふ文はとりおとし候ふことも候ふほどに、ただ心に信をだにもとり候ば おとし候はぬよし仰せられ候ひし。またあくる年 あそばされて 下され候ふ。

（『蓮如上人御一代記聞書 二百七十九』）

《現代語訳》

赤尾の道宗が、蓮如上人に御文章を書いていただきたく願ったところ、上人は、「御文章は落としてしまふこともあるから何よりまず信心を得なさい。信心をいただきさえすれば、それは落とすことがないのである」と仰せになりました。その上で、上人は次の年に御文章をお書きになつて、道宗にお与えになつたのでした。

## 二〇二二（令和四）年

### 金光寺報恩講のお知らせ

日時  
十二月十五日 午前十時〜 日中法要（上下参り）  
（九区・十三区・十四区 地区）  
午後六時〜 速夜法要（お番）

十二月十六日 午前十時〜 日中法要（中央参り）  
（十区・十一区・十二区 地区）

講師 福岡教区 夜須組 光蓮寺住職  
浄土真宗本願寺派布教使 北 嶋 文 雄 師

### その他

お参りの際は、門徒式章、念珠と聖典（経本）をご持参ください。また、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、必ずマスク着用の上、入堂の際は準備してあるアルコール消毒液で手指を消毒してください。体調不良の方は参詣をご遠慮ください。  
報恩講期間中の日中法要（午前十時からの法要）にお仕事等でお参りできない方は、十二月十五日午後六時からの速夜法要にお参りください。  
法要終了後のお参りについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためお配りしますので、ご自宅でお召し上がりください。  
浄土真宗では一番重要な法要・法座に多くの方のご参詣をお待ちしております。是非、ご縁をお結びください。